

## 令和5年度 第1回 こども部会 会議録

【日時】 令和5年4月19日(水) 13:30~15:00 つるぎ町農業改善センター2階視聴覚室

【参加者】 徳島県西部こども女性相談センター、発達障がい者総合支援センターアイリス  
池田学園、半田中学校、池田支援学校、美馬市・長寿障がい福祉課  
美馬市保険健康課、美馬市こどもすこやか課、美馬市教育委員会教育研究所  
つるぎ町保健センター、つるぎ町福祉課、つるぎ町教育委員会、美馬保健所  
相談支援事業所ワンハート、障害者支援センター小星園、障害者支援センターかしかおか  
相談支援センターイノセント (計21名)

【会議録】 相談支援センターイノセント

### <会議内容>

#### 1. 自己紹介

#### 2. 美馬市・つるぎ町障がい者自立支援協議会こども部会の経緯について

○こども部会の発足からこれまでの経緯、部会の目的等について説明。

#### 3. 障がい児通所支援事業所の空き状況について

##### ○児童デイ ワンハート穴吹

・放課後等デイサービス:定員は埋まっており、平日の空きはないが土曜日は若干、空きがある。利用児の状況により空きが出る可能性がある。

##### ○ピース

・放課後等デイサービス:2名空きあり。

##### ○こども発達支援事業所イノセント

・児童発達支援:曜日によって空きがある。(小学校進学に向けて、こども園の回数を増やすなど調整をしているので利用状況に変動がある。)

・放課後等デイサービス:空きがない。児童発達支援を利用している利用児が小学校進学と同時に放課後等デイサービスに移行するケースが多く、なかなか空きが出ない。

#### 4. こども版障がい福祉のしおりについて

・美馬市つるぎ町障がい者自立支援協議会のホームページに掲載している。各担当のページを確認して頂き、情報の修正等があれば次回のこども部会で報告。(現在、HPには令和4年4月版として掲載している。)

#### 5. その他情報交換

##### ○情報共有

##### ①当事者からの相談について

・障がい(高次脳機能障害)を持ちながら子育てをしている母親より、当事者との情報交換の場や障がいの理解促進・啓発等についての相談があった。何か情報などがあれば共有していきたい。

## ②預かり保育について(費用について)

○児童発達支援、放課後等デイサービスを利用しているこどものうち、幼稚園の預かり保育や児童クラブを並行で利用する場合、自己負担が大きくなる。インクルーシブ教育推進の流れがあるがこのような現状があり、並行利用しにくい現状がある。

・美馬市：保育所と幼稚園は条件に合えば自己負担はない。それ以外は基本、月割。脇町保育所(3才)と認定こども園に通っているⅠ号認定の場合は緊急時Ⅰ回500円。児童クラブは基本的に月割。(詳細は美馬市こどもすこやか課まで)

## ③放課後児童クラブについて

・脇町は待機待ちの児童が4名いる。

## ④外国人家庭の支援について

・家族支援が必要なケース。こどもが小学校に進学したが手続等が分からず、困っていた。障がい関係なくこのようなケースはあるか？

→つるぎ町では両親が外国人で、学校担任が教育委員会に相談。個別でツールの活用など伝えたり、サポートをしている。人口が少ないのでケースは少ない。

→美馬市では限られた学校(小・中)に言語支援員が在籍しており、担任と保護者の間に介入している。幼稚園やこども園にはおらず、現状は教育委員会に伝えている。(教育委員会では退職した教員が研修を受けて、日本語教室を開いている。)

## ⑤その他(グループに分かれて情報交換)

・福祉課窓口では児童発達支援や放課後等デイサービスの利用について相談が増えている。こどもの状況に合わせて保健センターと連携を図る事でサービスに繋がっている。就学後からの相談が増えてきているが早期に介入できるとこどもの自立につながると思う。サービス利用のニーズはあるが事業所に空きがない場合は児童クラブを利用せざるを得ない。事業所の状況により、サービスに繋がらないケースもある。制度やサービスの説明の際には本人の不利益にならないよう気を付けている。

・はじめての子育てで親も戸惑う事が多い。低年齢の場合は保育士が巡回相談に繋げてくれる。「もう少し様子を見たい」というお母さんの気持ちも大切にしながら関わっている。

・乳幼児健診後はカンファレンスで情報を共有、今後の支援の方向性を検討している。昔に比べて家族の形が変化し、母親が孤立したり、親に障がいがあり、支援が必要なケースが増えている。支援の必要性はあるが介入の難しさもある。

・不登校の支援について。美馬市は適応指導教室がある。県教育委員会では臨床心理学を学ぶ大学院生を派遣し、児童生徒の悩みや不安の解消に向けて支援する活動するライフサポーター派遣を行っている。

・こどもと親の支援を分けて行う事で環境が改善したケースがあった。

\*次回6月21日(水)開催予定